



令和7年9月
広報萩掲載

自動音声電話にご注意を！

国の機関や大手通信会社等をかたった、自動音声電話による不審電話が増加しています。口座番号や振込先などの個人情報を聞かれたら、あせらずに一旦電話を切りましょう。オペレーターにつないだり、個人情報を伝えたりしないでください。

相談事例

固定電話に、日本年金機構を名乗り「保険料の払い戻しが受けられる。書類を送付したけれど、返送期限を過ぎても提出がないので連絡しました。払い戻し手続きをしないと年金が止まる場合があります」と自動音声ガイダンスが流れた。

続けて「オペレーターにつなぐ場合は1番を押してください」と案内があった。

年金を止められたら困るので1番を押すと、すぐにオペレーターにつながった。

聞かれるままに「氏名、生年月日、住所、取引銀行」等の個人情報を教えてしまった。払い戻し手続きをしないと、本当に年金支給が止められるのだろうか。

アドバイス

- ◇ 日本年金機構が自動音声ガイダンスを使って、年金の支給停止等の連絡をすることはありません。
- ◇ 払い戻しがあるといい、キャッシュカードや通帳を用意させて、最寄りの金融機関やATM に誘導することがあります。
(還付金詐欺)



自動音声の具体例

- ◇ 総務省 ... 「○時間後にすべての通信が止まります」
- ◇ 電話会社 ... 「料金未納のため、○時間後にこの電話が使えなくなります」
- ◇ 厚生労働省 ... 「あなたの保険証が不正に利用されています」
- ◇ 年金機構 ... 「あなたの年金が止まります」
- ◇ 電力会社 ... 「電気料金が未払いのため、○時間後に電気が止まります」